全國農業教育新聞

第１号
発行所
全国高等学校農場協会
東京都渋谷区
円山町２－20

民の希いは 繁栄の　歴史新たに おこるとき
進む技術の研鑽に　喜び集う 農場協会

第616号　令和７年９月１日
（年４回発行）

第74回全国大会
（6月5日(木)・6日(金)　星陵会館にて）

〈会長挨拶〉

全国高等学校農場協会
会長　**橋本　智**



昨年度の大会直前の5月29日には、国会で「食料・農業・農村基本法」が25年ぶりに大きく改正されて可決・制定されました。さらに政府は今年4月11日に、今後の5年間の農政の方向性を定める、新たな「食料・農業・農村基本計画」を決定しました。

これを受けて農業高校においても、その具体化が問われています。私たちが日々取り組んでいる農業教育の意義、私たちが組織している農場協会の目的というのも、高等学校農業教育の振興、農業高校の存続・発展を通じて、日本の農業を守る、ひいては日本人の心のふるさと、日本の農村の原風景を、将来にわたって守り続けるためにあるのではないか、と私は考えます。

既に政府は、昨年12月24日に「専門高校・農業高校拠点とした地方創生支援・地域人材の育成」という考えを挙げております。専門高校・中でも農業高校は、地域社会・産業の担い手育成のための重要なインフラとして、今もって大きな存在意義をもっています。農家が少ないから、志願者が減少しているから、単純に農業高校はいらない、ということにはなりません。

これが今、少子高齢化で農業高校存続の危機が言われている中での農業高校の復権、「地方の危機の時代における、農業高校に期待される新たな役割」なのだ、と私は考えております。本協会、会員校全国約370校余りある農業高校を網羅する、そしてそこに勤務するすべての農業教員、管理職・農場長・教諭・実習助手の先生方約6300余名を会員とする唯一の組織である、私たち全国高等学校農場協会の意義と役割は、大変大きなものであると言わざるを得ません。

〈要旨のみ。研究集録に全文掲載〉

〈感謝状贈呈〉　4名
埼玉県　柴田　幸義
岐阜県　辻　浩幸
山口県　福島　一生
神奈川県　高梨　昇

〈来賓祝辞〉（敬称略）

「農林水産高校を応援する会」事務局長
参議院議員　**上月　良祐**



大変大きく環境が変わってきております。自然環境も社会環境も変わってきています。技術の進化も目まぐるしい状態でありまして、スマート農業をはじめ、先生方が教える中では大変御苦労も多いのではないかと思います。

こういう環境の変化が大きくあったので、基本法の改正がありましたし、基本計画の策定というのが必要となり、25年ぶりに大きく抜本から変わったわけです。その中で、先生方のお仕事というのが、今、農林水産の関係の高校だけではなく、大変教員の確保というのが難しくなっています。

特に農業関係は生き物を相手にするということもありますので、時間の拘束なども大変ありますし、大変な仕事であろうかと思います。そのための設備をしっかり整えていく、あるいは先生方への手当を支えていく、そういうことを我々はしっかりやっていくのを、議連を通じて長く一生懸命やらせていただいております。

農業という国の基、ここを通じて、そこに携わる人材の育成を通じて、ぜひとも公に尽くす、その大切な

使命をしっかり果たせていただきたいと思いますし、それを支えられるように我々も頑張ってまいりたいと考えております。

文部科学大臣政務官
衆議院議員 金城泰邦 代理
文部科学省初等中等教育局
参事官（高等学校担当）付
産業教育振興室長
大久保 享之



本日、ここに全国高等学校農場協会及び公益財団法人全国学校農場協会令和７年度第74回全国大会並びに研究協議会が開催されることに心からお喜びを申し上げます。農場協会におかれましては、我が国の農業教育の充実・発展のため、日頃より農業高校の取組を支えていただいておりますことに、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

さて、農業従事者の高齢化と減少が急速に進む中、農業の担い手の育成確保は喫緊の課題であり、特に産業構造が大きく変化していく中で、スマート農業をはじめとしたデジタル化に対応した人材が求められる昨今、その育成を担う農業高校に対する期待はますます高まっております。

これまでも全国の農業高校においては、我が国の将来を見据えたニーズを踏まえた教育活動を進めていただいておりますが、こうした状況の変化に対応した持続可能な農業の担い手の育成を一層推進していく必要がございます。このため、文部科学省としても、産業界と専門高校が一体となった教育活動の普及や、デジタル等の成長分野を支える人材育成に必要な環境整備など、多種多彩な取組の推進を支援しているところであり、引き続き皆様の御意見も伺いつつ、ともに農業教育の充実に取り組んでまいりたいと考えておりますので、御協力をよろしくお願い申し上げます。

衆議院議員　田所　嘉徳
衆議院議員　西岡　秀子
農林水産省経営局就農・女性課長　尾室　幸子
(公財)産業教育振興中央会
専務理事　岩井　宏

〈来賓紹介〉（敬称略）

衆議院議員　文部科学大臣
政務官　金城　泰邦
衆議院議員　総務副大臣
冨樫　博之
衆議院議員　金子　恭之
衆議院議員　井上　信治
衆議院議員　佐藤　英道
参議院議員　山田　俊男
参議院議員　藤木　眞也
元参議院議員
西岡武夫秘書　清水　勝彦
文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター
研究開発部教育課程調査官
吉田　幸人
(一社)全国農業会議所
経営対策部　専門員
山田　健悦
全国農業協同組合中央会
営農・担い手支援部
審査役　森田　謙三
全国農業高等学校長協会
理事長　一ノ瀬　淳
(株)農文協プロダクション
代表取締役　阿部　道彦
(株)日本農業新聞
編集局長　川島　豪紀
実教出版(株)第二編修部
1課　課長　足立　良太
(株)島津理化事業企画室長
梅田　篤史

〈総会　議案議決〉

(1) 第1号議案
令和６年度事業報告並びに決算
(2) 第2号議案
役員の改選
(3) 第3号議案
令和７年度事業計画並びに予算
(4) 本部提出議題
会則の改正

＊会則第４条に基づく代議員に関する規定(令和７年度学校要覧158ページ第３・第４条参照)

各議案は原案通りに可決されました。

〈本部役員〉

会長　橋本　智
(栃木県・鹿沼南高等学校)
副会長　吉野　剛文
(東京都・農芸高等学校)
副会長　江森　忍
(東京都・園芸高等学校)
副会長　大畑　哲也
(東京都・瑞穂農芸高等学校)
副会長　大坂　操
(東京都・三宅高等学校)
副会長　田代　善則
(神奈川県・中央農業高等学校)
振興局長　阿久津　晃一
(栃木県・宇都宮白楊高等学校)
広報局長　津久井　憲昭
(千葉県・君津高等学校)
研究局長　益子　透
(茨城県・鉾田第二高等学校)
事務部局
事務長　須賀　秀次

〈支部長〉

北海道支部長 小鍋　祐哉
(北海道・大野農業高等学校)
東北支部長 穂積　慎一郎
(福島県・福島明成高等学校)
関東支部長 巻島　弘敏
(神奈川県・相原高等学校)
北信越支部長 矢野　良
(長野県・南安曇農業高等学校)
近東支部長 吉田　宏
(奈良県・磯城野高等学校)
中国支部長 河口　晋
(山口県・田布施農工高等学校)
四国支部長 髙内　康雄
(愛媛県・伊予農業高等学校)
九州支部長 福嶋　亮一
(熊本県・八代農業高等学校)